



じとぜんひろば

No.112 2023年(令和5年)10月1日

地御前地区自治会

トピックス

平和祈念式典の鳩

2023年8月6日、78回目の原爆の日に今年も平和祈念式典が行われた。松井市長の平和宣言が終わると鳩が放たれ、一斉に飛び立った。そして「平和への誓い」と式典は続いた。放鳩(ほうきゅう)は1947年の「第1回平和祭」で平和の象徴として10羽を放ったのが始まり。ピーク時の2000年前後は1500羽、近年は500羽。今年は250羽が平和公園の空に放たれた。市民活動推進課は「平和の象徴のハトを多く放つことで印象深い式典になる。今後もできる限り続けたい」としている。



この放鳩に以前に地御前からボランティア参加された

鳩の飼い主がおられる。近くを通りかかった時などに十数羽が空を元気に飛んでいる光景を見かける。そのことをどこかで知って以来「平和式典の空を飛んだ鳩なんだなあ」とふと思う。平和の象徴として、平和式典の祈りを日常生活で思い起こさせてくれる。自分の住んでいる街の空をこの鳩が飛んでいるのを見るたびに、これからは平和への敬虔な気持ちでやさやかながら捧げたい。

浴衣着付け教室開催

生活安全事業部主催

7月30日、8月5日、7日の3回、地御前地区自治会生活安全事業部主催、地御前市民センター共催の浴衣着付け教室が開かれました。計6時間という短い時間でしたが、「浴衣を自分で着れる・他人に着させてあげられる」を目標に実践授業を受けました。他にも着物のあれこれを学び、中級者にも中身の濃い内容をしました。子どもから大人までの延べ24人。6年生女子と2年生女子、大人の中にも着付け初挑戦の人がいて、四苦八苦しながらもみんなで楽しく学びました。永井百合子さん(宮内在住、もと地御前在住)が講師をしてくださいました。

夏のプレイパーク

8月26日(土) 10時~12時



最後に行ったビンゴゲームのようす。お菓子などたくさんのお景品に子どもも親も大喜び。

地御前地区自治会青少年事業部主催のプレイパークが今市会館で開催された。各種工作(水ビーズアクセサリー、缶バッジ、ペットボトル車、割り箸鉄砲)、ゲーム(的当て、ビンゴカード)、食べ物や飲み物(かき氷、とうもろこし、スイカ、お菓子など)を用意した。昨年の参加者人数の約倍となる親子61名の参加があり、始めから終わりまでとても賑やかな活動になった。コロナ禍で活動中止が続いた昨今、29各町内会毎にあつた子ども会が9に減少している。地御前小学校児童数はむしろ増えているが、一度無くなった子ども会を再開する動きは聞かれない。地域の活動合える機会は大切なので、これから青少年事業部活動で一端を担ってゆきたい。青少年事業部長 川口 栄作

『地御前ものがたり』 幹旋について

地御前郷土文化保存会

地域の皆さん。『地御前ものがたり』の改訂版が6月に出版されたことを存じますか。(地御前小学校の教材としても使われています)

このものがたりは、平成27年に初版として出版されたものを令和5年に改訂版として出版したものです。

地元にお住いの方はもちろんのこと、地御前にゆかりのある方で、海外(移民されたご家族)や他県にお住いのご家族、友人・知人に贈呈しませんか。写真入りのものがたりは往時を偲ぶに相応しいと思います。幹旋価格 450円(実費) お問い合わせ・注文は 地御前郷土文化保存会 会計・崎村まで (TEL090955212272)



神楽が来るよ

10月7日・8日大歳神社御例祭(秋祭)が行われます。7日(土)夜7時から湯来町水内神楽団による神楽奉納があります。

5年ぶり 地御前盆踊り開催

8月15日(火)台風接近で今年も開催が危ぶまれたが、地御前市民センター駐車場に櫓が建てられ、唄・和太鼓・笛・三味線の演奏で昔ながらの盆踊りを楽しんだ。



元々は「供養盆踊り」と称され、僧侶によるお経や焼香の後に盆踊りが開始されていた。

8月15日、5年ぶりに地御前盆踊りが開かれた。朝8時に地御前市民センターに地御前郷土文化保存会を中心に有志が集まり、櫓を建てたり出店のためのテントを立てた。久しぶりの櫓建ては半ば手探り状態。「船頭多くして船山に登る」の様相を呈しながらも、それもまた楽し。笑顔の絶えない作業となった。PTAや自治会、消防団の繋がり、30歳代から50歳代の男性もいたが、半分は60歳代後半から80歳代前半の人たち。しかし確実にみな実年齢より10歳若いバイタリティーを発揮している。どこからこのパワーが湧いてくるのかいつも驚かされるばかり。自分もこんなふうな歳をとりたいという憧れを感じずにはいられない。だが仲間があればこそこの様な歳の取り方なのだ、今回はハッキリと気付かされた。

和太鼓、提灯、椅子・机、音響設備などの設置までが一段落したのは11時過ぎだった。一旦帰ってまた4時から、今度は女性陣も含めて出店の飲食の支度などで集まるということだった。凄いとしか言いようがない。

出店は全てシニアクラブや地御前郷土文化保存会によるボランティアで運営され、くじ引き(スパーボールなど)、かき氷、ビールやジュース、フランクフルト、ポップコーンなどが提供された。

地御前小学校 創立150周年記念祭

「歴史ある地御前小学校 未来に向けて」

【目指せ創立200周年】 11月3日(金・祝) 10時~地御前小学校で行います。地御前の歴史のページを飾る行事となります。地御前の魅力を実感してください。皆様のご来場をお待ちしております。詳細は自治会HPや自治会公式ラインにてお知らせいたします。

実行委員長 新見 真幸 PTA会長 木村 聡枝

編集後記

★大方の予想を覆し健闘しているカーブ、首位は虎としても2位を死守しCSでの逆転を期待したい。個人的には新人の益田投手が野球部の後輩であり、新井監督のもと、家族一丸野球に貢献してもらいたいと願っている。 Y・Y

★地御前小の歴史を調べた。子どもたちのために村をあげて大人たちが労をいとわなかった歴史に心を動かされた。昔の人はことある毎に当事者意識があった。今の私たちはことある毎に当事者意識が欠けてはいないだろうか。 J・K

【発行】 地御前市民センター内 地御前地区自治会 広報事業部

6時に開会行事が始まり、松本廿日市市長の挨拶があった。市政の基本はまちづくりであり、地御前の活気ある地域活動への謝意が述べられた。次にハッピーオレンジのダンス、駆流舞のロックソランが披露され、いよいよ盆踊りがスタートした。ズンドコ節、廿日市音頭、炭坑節で30分程度、櫓を囲んで踊った。

それから休憩を挟んで、いよいよ民謡の生演奏での地御前盆踊り突入となった。和太鼓、笛、三味線にあわせて「進徳丸」「宮島八景」が朗々と唄われ、昔ながらの振り付けで老若男女が踊った。踊りながら櫓の周りを回る回数が増えるにつれて、皆んなの笑顔も開放的になってゆく。

前回の盆踊りでは輪に加わって踊りながら、昔の人たちの暮らしに思いを馳せた。今回は浴衣姿で三味線を弾きながら、櫓の上からみんなの踊りを眺めながら、空の上から私たちを見ている先祖の気持ちに思いを馳せた。

盆踊りは、迎えたご先祖様の霊をお送りするためのもの。どんな気持ちで先祖様は見ているのだろうか。この踊りは、皆が仲良く助け合い、楽しく過ごしていることをご先祖様に伝えるために踊っているのだなあと感じた。それを見てご先祖様の霊は慰められ、送られてゆくのだと思う。でもそんな

地御前地区自治会Webは「じとぜんひろば」



意味とか意義とか、押し付けがましい価値観などは何処にも無い。それでもお盆や盆踊りが続いていることや、皆さんが協力しているところが本当の信心がある気がする。

近畿地方を北上する台風の影響で夜8時過ぎに雨に降られ、急遽、踊りを終えなければならなくなった。しかし、こんなに汗を流しながらぶっ通しで演奏したことは今まで経験が無く、演奏する側も踊る側も限界だったので、8時半に盆踊りが終わったことは、実はちょうど良かったのかもしれない。家に帰ってシャワーを浴びて一段落していたら、何度もこむら返りが出るくらい軽い脱水症状があった。

5年ぶりの開催で、私が三味線を盆踊りで弾くのは初めてだったが、全部が期待を遥かに上回る体験だった。これを書いていても感謝の気持ちで地御前郷土文化保存会、シニアクラブ、市民センターほか大勢の顔が浮かんでくる。皆さん、先祖の皆さん、ありがとうございます。

広報事業部 桐林 潤



チップが付いていて、自動的にタイムが記録される仕組みです。

トランジションエリアの中国新聞ちゅーびーパークから次はバイクの渡辺さんがスタートしました。渡辺さんはしまなみ海道のサイクリングイベントなどへの参加経験はありましたが、本格的な自転車競技大会への参加は初心者でした。その心理からピチピチのバイク・コースチュームのようなガチなスタイルは恥ずかしいと思い、いわゆる普通の運動に適した衣服で参加しました。しかしこれが逆に競技者の中で一番目立ってしまった(笑)と振り返ります。バイクコースのゴール(ランへのトランジションエリア)は吉和魅惑の里でした。距離55km、高度850mは屈指のハードコース。沿道の声援はありがたいのですが、このハードさ故に声援に込める余裕や気力はさすがに序盤で無くなるようです。沿道にある佐伯高校は全校生徒が応援に駆けり出されるそうです。エイドステーションで飲み物を一人でも多くの選手に渡そうと頑張る姿、メンバー表を見ながら名前を呼んで応援する姿、ボランティアで係わる人たちにはこういった体になる体験が報酬のひとつなのだと思います。

子どもたちイキイキ夏祭り in 野坂公園



8月5日(土) 午後5時から午後7時海晴丘・野坂シニアクラブ合同実行委員会主催による「夏祭り in 野坂公園」が開催されました。約400人以上の家族連れが参加して楽しいひと時を過ごしました。

オープニングセレモニーではハッピー・オレンジがY.O.A.S.O.B.Iの曲「夜に駆ける」に合わせて元気いっぱいダンスを披露しました。

公園では食べ物や飲み物(焼きそば、たこ焼き、フライドポテト、フランクフルト、かき氷、ジュースなど9種)、スノーボールすくいなどのゲーム4種と、実に豊富なコンテンツが提供されました。

午後6時過ぎからは教員免許を持つお笑い芸人「がくごんまい」によるステージがありました。おもしろクイズやマジックに子どもたちが興味津々。驚き

あり、お笑いありの楽しいステージでした。

最後にはビンゴゲームがあり(受付で来場者に配布した240枚がすぐに無くなった)参加者は来場時に受付で受け取ったカードを手に一喜一憂して楽しみました。

食品、資材、機材、ポスター・チラシ、飾りつけ、届出書・申請書などの手続き、救護対応(ひろしま民間救急搬送サービスが待機)など、全てシニアクラブのメンバーと地域ボランティアの皆さんが手分けをして準備したものでした。それもあって会場のあちこちで地元のお祭りや催し物で会える方々と歓談する機会がありました。子どもたちがあちこちで楽しく賑やかに過ごしている公園。たくさんの方の知人や知らない人たちの笑顔があちこちで見える公園。いつもの何でもない野坂公園が、地域にとってかけがえのない、想像を超えたミラクル公園に進化した劇的瞬間でした。

このような催し物は、開催する側と参加する側とで一緒に築く、暮らしに欠かせないもの、道路工事や水道工事と同じ公共事業のようなものだと思います。コロナ禍が一段落してきて、ここ数年間で失われた目に見えない多くのものが、これからどんどん復興されてゆき、より新しく進化してゆくことに期待が増します。

夏休み ラジオ体操のお礼

今年の夏休みも無事にラジオ体操を行うことができました。周辺地域の方々には、早朝の行事でご迷惑をおかけしたかと思ひます。あたたかく見守っていただき、ありがとうございます。

うございました。多くの方にご参加いただき、スタッフ一同大変感謝しております。なお、重症化リスクが低下したと言われるコロナですが、まだまだ油断できないものですので、体調には十分に気を付けてお過ごしください。

来る11月12日(日)第45回地御前地区運動会を4年ぶりに開催いたします。皆様の積極的なご参加を部員一同心よりお待ちしております。



はつかいち縦断みやま国際パワートライアソン大会 2023 FINAL

2023年6月18日「はつかいち縦断みやま国際パワートライアソン大会2023 FINAL」が開催されました。

「はつかいち縦断みやま国際パワートライアソン大会」は市制施行20年を迎えた平成19年(2007年)6月に初めて開催され、令和5年の最終開催を含めて14回行われました。開催に当たって毎回、地元のあるゆるの団体にボランティア要請があり、選手たちを大勢の地元市民がサポートしてきました。

競技者は文字通り鉄人。常人には考えられない体力・気力の持ち主で、めったにいないと誰もが思っています。でもトライアスロンに参加している人は意外に身近にいたりします。今年が最後となった大会で、地御前の人の縁が取り持つてできたチームの参加がありました。リレー部門で参加されたスイム・三浦さん、バイク(自転車)・渡辺さん、ラン・川本さんです。

地御前でも自治会や小・中学校PTAなどの様々な組織

を通じて大勢のボランティアが募られて大会を支えてきました。毎年ボランティア協力をしてきた三浦さんは、最後のトライアソン大会ということで、今年には競技に是非参加したいと思っていました。一方、三景園に在住の川本さんは過去6回、「はつかいち縦断みやま国際パワートライアソン大会」に参加していました。川本さんは、スイムの練習に行っているプールで三浦さんが監視員をしていて、知り合いました。三浦さんの思いを聞いて「リレーチームが作れたら三浦さんがトライアソンに参加できる」ということになりました。そこで自治会の向きを向けて渡辺さんがバイクでチームに参加することになりました。こうしてトライアソン大会リレー部門に参加する「チームYUKA廿日市地御前」が結成されました。

三浦さんは、宮島の鳥居付近をスタートして対岸まで泳ぐ例年通りのコースを楽しみにしていました。ですが今年には安芸グランドホテル桟橋をスタートし大野瀬戸を1.5km泳ぐ周回コースとなり、ちょっとガツカリしました。それでも1.5kmという距離と潮流、6月中旬という時期に海での水泳競技に参加できる機会は貴重な体験になりました。全種目参加の競技者はトランジションエリアで着替えるなど身支度をして出発する必要があるので、リレー部門は次の競技者にリストバンドを渡すのみ。このリストバンドにIC

キラキラ公園 参加延べ人数：子供1,201 大人491人

地御前市民センター 参加延べ人数：子供1,066 大人325人

地御前神社 参加延べ人数：子供621 大人282人

扇園第一公園 参加延べ人数：子供842 大人210人

最終日、全員で草取り

ポケモンシール
参加賞
ゲット!!